避難行動要支援者の
個別避難計画の作成について
Q & A

令和7年4月1日
天童市危機管理室

目 次

- Q 1 制度の中身を教えてください。
- Q 2 避難行動要支援者はどんな方が対象になっているのですか。
- Q 3 自主防災会は何をすればよいのでしょうか。
- Q 4 避難支援者になると必ず支援しなければいけないのですか。
- Q 5 避難支援とはどの程度まで行わなければならないのですか。
- Q 6 避難支援者には誰になってもらえばよいのですか。
- Q 7 今後、要介護認定を受けた方など、新たに避難行動要支援者の対象になる方への同意確認は誰が行うのですか。
- Q 8 個別避難計画は必ず新しい用紙に書き直さなければならないのですか。
- Q 9 手直しが終わり市に提出した個別避難計画は戻ってくるのですか。
- Q 10 今回、市から渡された個別避難計画（写し）は民生児童委員や福祉推進員の方にも渡しているのですか。
- Q 11 個別避難計画の作成・手直しのため訪問調査を実施するわけであるが、対象者から「何しに来たんだ？」とか「怒鳴られた！」場合には、どうすればいいんですか。
- Q 12 同意者は元気で、毎日車に乗って買い物に出かけている状況なのだがどうすればいいんですか。

Q 1 制度の中身を教えてください。

A 平成 23 年の東日本大震災においては、被災地全体の死者数のうち 65 歳以上の高齢者の死者数は約 6 割であり、障害者の死亡率は被災住民全体の死亡率の約 2 倍に上りました。こうした東日本大震災の教訓を踏まえ、平成 25 年の災害対策基本法の改正において、実効性のある避難支援がなされるよう、避難行動要支援者名簿の作成を市町村に義務付けるとともに、避難行動要支援者本人からの同意を得て、平常時から自主防災組織等の避難支援等関係者に情報提供できることが定められました。

そのため、天童市要配慮者避難支援計画（平成 26 年制定）を定め、地域において災害発生時に自ら避難することが困難であると判断される方である避難行動要支援者の避難支援を目的として実施しています。

※ 令和 3 年災害対策基本法改正：「個別避難計画作成の努力義務化」

- ① 避難行動要支援者名簿の作成（市）
- ② 避難支援の有無及び個人情報の提供について、同意の確認（市）
- ③ 個別避難計画の作成、個別避難計画情報の提供について、同意の確認（市）
- ④ 同意者一人ひとりの個別避難計画（避難行動要支援者の避難支援者となる者、緊急連絡先、避難場所、避難時に配慮しなければならないこと等を定めたもの）の作成・修正（地域：自主防災会・自治会等、民生委員・児童委員等の協力を得て実施）

※ 作成された名簿及び個別避難計画は市、自主防災会・自治会等において管理し、平常時の「見守り活動、町内会行事、防災訓練」、災害時の「情報伝達、安否確認、避難支援等」に活用していただくものです。

なお、個人情報である名簿及び個別避難計画の取扱いには十分注意してください。

Q 2 避難行動要支援者はどんな方が対象になっているのですか。

- A
- ① 75 歳以上の単身者及び 75 歳以上の高齢者のみの世帯で、介護保険法における要介護認定（要支援 1～2、要介護 1～2）を受けている方
 - ② 介護保険法における要介護認定 3 以上を受けている方
 - ③ 障がい者や医療機器を装着している方などを対象にしております。

※ 天童市は約 8,000 名が該当

Q 3 自主防災会は何をすればよいのでしょうか。

A-1 今回、避難行動要支援者のうち、新規同意者が作成した「個別避難計画の写し」を該当する自主防災会にお渡ししております。

該当する自主防災会の皆様には大変お手数ですが、町内会役員や民生児童委員、福祉推進員等の方々と連携を図っていただきながら、訪問調査や現況確認により同意者の個別避難計画を手直し（避難支援者の選定、避難場所等の指定等）していただくようお願いします。

なお、書き方については、事前にお渡しした個別避難計画の記入例を御参照ください。

A-2 今年、新規同意者がいない自主防災会の皆様には、最新の「登録者一覧表」をお渡ししておりますので、避難行動要支援者の身上等の変化（御逝去、入所や長期入院、緊急連絡先の変更等）や避難支援者の計画漏れ、変更等の有無を御確認いただき、修正事項があれば御連絡いただきますようお願いします。

A-3 各自主防災会におかれましては、もう一度「登録者一覧表」を御確認いただき、支援者の欄が空欄となっている場合は、避難支援者を指定くださいますようお願いします。

Q 4 避難支援者になると必ず支援しなければいけないのですか。

A 避難支援は、災害時に避難支援者自身やその家族の安全を確保した上で可能な範囲で支援していただくものです。

※ 支援が出来なかったとして責任を問われることはありません。

Q 5 避難支援とはどの程度まで行わなければならないのですか。

A 避難支援は必ずしも避難行動要支援者を避難所へ直接避難させることをお願いするものではありません。

避難行動要支援者の状況を確認し、本人や家族と相談のうえ「安否確認」や「情報伝達」をしていただくだけでも結構です。

※ 避難行動要支援者の状況に応じた支援をお願いします。

(例1) 聴覚障害者で自力避難可能な方：「避難情報の伝達」支援者1名

(例2) 歩行が困難で車椅子が必要な方：「車椅子の補助等」支援者2名

(例3) 寝たきり状態の方：「ストレッチャーに乗せる補助」支援者3名

Q6 避難支援者には誰になってもらえばよいのですか。

A 避難支援者は、災害時等に容易に駆けつけることができる、隣組の方や近隣住民の方が一番望ましいです。

自主防災会の皆様におかれましては、避難支援者の選任が一番苦慮されると思いますので、民生児童委員の方や福祉推進員の方々と御相談のうえ選任されますようお願いいたします。

個人を選任できない場合は、「〇〇隣組」「〇〇区」のように「組織」を指定して下さい。

なお、実行性のある個別避難計画にするため、避難支援者が遠方に住んでいる方や、同じ方が多数の方の避難支援者にならないよう選任をお願いします。

Q7 今後、要介護認定を受けた方など、新たに避難行動要支援者の対象になる方への同意確認は誰が行うのですか。

A 今年1月から12月に、新たに対象者となる方への通知及び同意確認は市で一括して今年度中（来年1月から2月に郵送）に行います。

自主防災会の皆様におかれましては、来年度の自主防災会連絡協議会の総会時に新規同意者の個別避難計画の作成・手直しについての御協力をお願いいたします。

なお、自主防災会や民生児童委員等の方が避難支援の必要を認めた場合には、その都度、登録申請をお願いします。

Q8 個別避難計画は必ず新しい用紙に書き直さなければならないのですか。

A お渡しした個別避難計画の写しに朱書きで訂正・加筆していただければ結構です。

なお、手直しが多く読みづらい場合や、余白への記入が困難な場合には、新たな個別避難計画に書き直しをお願いします。

Q 9 手直しが終わり市に提出した個別避難計画は戻ってくるのですか。

A 提出していただいた個別避難計画は、市のシステムに入力したものを改めてお渡しさせていただきます。

なお、担当嘱託区の民生児童委員の方に対しても、市社会福祉課のほうから登録者一覧表と個別避難計画をお渡ししております。

Q 10 今回、市から渡された個別避難計画（写し）は民生児童委員や福祉推進員の方にも渡しているのですか。

A 自主防災会会長の方だけにお渡ししております。個別避難計画の作成を進めていただくにあたり、御協力いただく民生児童委員や福祉推進委員の方々と共有して、個別避難計画の作成・手直しをお願いいたします。

Q 11 個別避難計画の作成・手直しのため訪問調査を実施するわけであるが、対象者から「何しに来たんだ？」とか「怒鳴られた！」場合には、どうすればいいのですか。

A-1 お渡しした「同意書・不同意書の写し」には、「名簿情報の提供に同意」「個別避難計画の作成に同意」「個別避難計画情報の提供に同意」の3項目についての「同意」がなされております。

また、個別避難計画を作成するため、避難支援等関係者が訪問調査を行いますので、その際は御協力下さいと明記しております。

以上のことについて御説明願います。

A-2 A-1の説明にもかかわらず了承を得られない場合には、本趣旨を良く理解しないで、単に保険のつもりで「同意」と記入した方と思われるので、「同意」から「不同意」として取扱うことを御説明願います。

Q 12 同意者は元気で、毎日車に乗って買い物に出かけている状況なのだがどうすればいいのですか。

A この制度の趣旨を良く理解しないで、もしものために「同意」しておくかなどと、保険のつもりで「同意」と記入した方と思われるので、「同意」から「不同意（自力避難可能）」として取扱うことを御説明願います。

※ 元気なお年寄りは、支援される側から支援する側に！